

NO. 334 〔唇焦口燥〕 しんしょう こうそう

< 意味 > くちびるが焦げるようになり、口が乾燥するさま。のどをからして何度も叫ぶさま。口がすっぱくなるほどいうさま。「唇焦げ、口燥^{かわ}わく」と訓読する。

< 出典 > 杜甫「茅屋秋風^{ぼうおくしゅうふう}の破^なる所と為るの歌」

語 釈 : 「燥」はかわく、乾燥する。

一 言 : 参議院選挙は 7 月 2 0 日の投票日に向けて選挙戦が繰り広げられています。暑さのせいもあって街頭演説に行く機会は余りありませんが、テレビ報道で各候補者の叫びのような演説を聞いています。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」